

和歌山病院での実習を終えて



山本 拓

呼吸器内科の実習の一環として、和歌山病院で2日間実習をさせていただきました。

和歌山病院は結核病棟をもつことを特徴とする病院で、駿田先生からは結核についての講義、また実際に病棟の紹介をしていただきました。結核患者を入院させ、また治療をする上で留意しておかなければならないこと、臨床現場における感染対策などについて詳しく説明していただきながら見学させていただきました。医療現場での細かな配慮、工夫があるからこそ、よりよい医療が提供できているのだと感じました。また、南方先生からは胸部X線の読み方についての講義をしていただきました。X線の原理を理解し、その上での読影力を試されるものであり、「考える」ということの重要性を認識させられる講義でした。理解するのに時間がかかりついていくのに必死でしたが、しっかりと理解しながら学習する楽しさを知ることができ、またいかに今までの自分の学習の仕方が暗記に頼ったものであったのか、論理的に考えることが医師になる上で重要なことであるかを気づかせていただけたいい機会となりました。

今後は、「考える」ということを大事にして、医学を学ぶことを楽しみながら精進していきたいと思います。お忙しい中、先生方と近い距離でお話しをさせていただける機会を設けていただき本当にありがとうございました。